

審議会等議事概要

令和6年度 第1回 滝川市予防接種対策協議会 議事概要

日 時	令和6年6月6日（木曜日）午後6時30分～
開催場所	滝川市保健センター
出席者	出席：永井委員長、磯副委員長、大井副委員長、中垣委員、本川委員 欠席：小西委員、篠島委員、縄手委員、松橋委員、福島委員、平木委員 事務局：景由保健福祉部次長、運上健康づくり課長、和泉課長補佐、 坂本保健師、倉嶋健康増進係主査
議 事	<p>1. 開会 運上健康づくり課長挨拶 挨拶 景由保健福祉部次長挨拶</p> <p>2. 委員の交代について 事務局) 令和6年度は前任期が終わり委嘱初年度となります。委員の互選により 委員長1名と副委員長2名の選出をお願いしたい。候補につきましては 事務局案を示しさせていただいてもよろしいか。 委員) よしの声 事務局) 委員長に永井委員、副委員長に磯委員、大井委員をお願いしたいがよ ろしいか。 委員) 承認の声 事務局) 永井委員長、磯副委員長、大井副院長、宜しくお願い致します。</p> <p>3. 報告事項 事務局より一括説明 2 ページ (1) 予防接種業務の変遷について 令和5年度までは割愛し令和6年度から報告する。 令和6年4月に記載されている内容は、新型コロナウイルス感染症 が予防接種法に基づきB類疾病に位置付けられ、定期接種化されまし た。また小児の予防接種として、百日咳・ジフテリア・破傷風・不活 化ポリオ・ヒブのワクチンである五種混合ワクチンと15価の小児用肺 炎球菌ワクチンが使用可能になりました。</p>

高齢者肺炎球菌の特例措置が終了し、これまで5歳刻みで対象となっていたものが、65歳の者と60から64歳の特定の障害を有する者となったこととなります。

3 ページ

(2) 令和4年度感染症関連の動向と対応について

1) 警報関係についてはご覧のとおりです。

2) の予防接種関連の通知・対応については、市の対応したものを説明いたします。

①国通知

予防接種基礎講座の実施及び動画配信のお知らせについて、国から周知依頼があり、予防接種受託医療機関に対し周知を行いました。

4 ページ

「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの定期の予防接種に係る対応について」、令和3年1月から日本脳炎ワクチンの限定出荷が実施され、令和5年1月に限定出荷が解除されたが、その間接種が進んでいないことが懸念されることから、必要な対応を講じるよう事務連絡があり、令和6年1月5日に6歳及び5歳となる未接種者に対し、はがきで接種勧奨を実施しています。

「乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの製造販売者による自主回収への対応について」、市ホームページで周知しております。

②北海道通知

「百日咳様の症状を呈する急性呼吸器感染症例の発生に伴う注意喚起について」、市内小学校、幼稚園、保育所に注意喚起を行い、市ホームページにて周知を行いました。

③市の対応等

風しん抗体検査・予防接種クーポン券の有効期限の延長について、風しん抗体検査及び予防接種のクーポン券は、令和4年6月上旬頃に対象者に郵送しており、その際、国の定めにより抗体検査クーポン券の有効期限を令和5年3月末日までと記載されたものを送付しています。そのクーポンの有効期限を令和6年2月末日まで引き延ばして活用できるようにし、受託医療機関に通知いたしました。

ヒトパピローマウイルス感染症予防接種予診票の配布について、令和5年4月1日より9価ワクチンが定期接種化されたことに伴い、予診票など関係書類を予防接種受託医療機関に配布しました。

高齢者のインフルエンザ予防接種の実施機関の拡充及び実施に関する

る調査について、昨年の予防接種対策協議会にて、実施期間の拡充に関する相談をさせていただき、これまで実施期間を11月から12月までとしていたものを、11月から1月までとさせていただきました。そのことに関する周知と、インフルエンザ予防接種の実施医療機関について、市への問い合わせが多数あることから、市ホームページに実施医療機関を掲載し周知をはかることを目的に、実施状況及びホームページ掲載意向調査を実施し、掲載許可をいただいた医療機関の情報をホームページにて掲載しました。

5 ページ

(3) 未接種者勧奨方法について
ご覧の通りとなっております。

6 ページ

(4) 予防接種の間違い報告について
定期予防接種については発生ありませんでした。
健康被害については、

新型コロナウイルスワクチン接種後後遺症と診断を受けた市民（60代男性）から令和6年4月30日、予防接種健康被害救済制度申請を受理しました。滝川市予防接種健康被害調査委員会で書面会議を開催し、6月4日意見集約を行い、これから厚生労働省へ進達する予定となっております。

北海道の予防接種の間違い報告の状況については、記載のとおりとなっております。

7 ページ

(5) 令和5年度 予防接種の実績について説明いたします。

①麻しん風しん混合については、第1期が接種率102.4%、第2期が接種率91%となっております。

第1期の接種率が100%を超えているのは、対象者数の算定を国の実施状況調査の基準日に合わせ、令和5年10月1日時点で設定しているためです。

第2期の接種率については、国は95%以上となることを目標としており、下回っている状況です。人数としては約20名が接種しておらず、その約半数が健康づくり課や子ども家庭相談室、児童相談所が関わっている要保護児童家庭という状況でした。

接種勧奨を年度初め、夏休み前、10月の就学児健診時、冬休み前、3月上旬に行っていますので、今後も引き続き接種勧奨を継続し、接種への働きかけを行っていききたいと思います。

②BCGについては、接種率が110.4%となっております。100%を超えるのは、対象数の設定を令和5年度の出生数に合わせているためです。

8 ページ

③四種混合については、接種率が114%となっております。100%を超えるのは、対象数の設定を令和5年度の出生数に合わせているためです。

④ロタについては、接種率95.7%となっております。

9 ページ

⑤B型肝炎については、接種率が96.3%となっております。

⑥ヒブワクチンについては、接種率が97%となっております。

10 ページ

⑦小児用肺炎球菌については、接種率が97%となっております。

⑧水痘については接種率が102.4%となっております。100%を超えるのは、対象者数の設定を麻疹風しんと合わせ、令和5年10月1日時点の1歳児人口としているためです。

11 ページ

⑨二種混合予防接種については、接種率81.1%となっております。二種混合の勧奨については、未接種者に対し年度初め、夏休み前、冬休み前、3月上旬頃に勧奨をしておりますので、引き続き勧奨を継続していきたいと思っております。

⑩子宮頸がんワクチンについては、令和5年度から9価ワクチンの接種が開始され、2価・4価と比べると9価ワクチンを接種する人が多くなっています。接種率の記載はありませんので、口頭で説明させていただきます。定期接種の対象者で1回以上接種をした人の割合は17.1%、キャッチアップ接種の対象で1回以上接種した人の割合は22.8%となっております。キャッチアップ接種の割合が定期接種より高いのは、平成9から平成11年度生まれの方は、当時接種対象だった時に40%程度接種していたためです。まだまだ接種率が低い状態ですので、引き続き接種勧奨を継続していきたいと思っております。

12 ページ

⑪日本脳炎につきましては、第1期の接種率は97.6%となっております。また、日本脳炎2期の接種率については、記載しておりませんので口頭で説明いたします。

日本脳炎2期の定期接種の対象年齢は9歳から13歳未満と長いため、令和5年度に13歳となる平成22年度生まれの方の接種状況から

接種率を算出しました。対象者数 289 人のうち接種者数 118 人で接種率 40.8%となっています。接種率が低い理由として、平成 22 年生まれの方は、第 1 期の接種を終えていない方が全体の 50%程度おり、第 2 期の接種に至らない方が多いことが考えられます。この方たちは、北海道で日本脳炎の予防接種が始まった時の年齢が 6 歳から 7 歳であり、対象期間が短かったこと、また、対象者全員に個別に接種案内を送付しておりますが、保護者の考えで接種しない選択をされた方もいたと思われる。2 期の接種につなげるため、2 期の接種勧奨はもちろんです。1 期の接種勧奨についても引き続き継続して行っていきたいと思います。

13 ページ

⑫高齢者の肺炎球菌につきましては、令和 5 年度までは 65 歳から 100 歳までの 5 歳刻みの年齢の方を対象として実施しておりますが、全体の接種率は 13%と低い結果でした。ただし、助成期間外で接種している人もおり、その方については市で接種状況を把握できないため、実際の接種率は算出できません。市で算出した接種率は、市の助成を受けて接種した方の割合となっております。

14 ページ

⑬高齢者インフルエンザの接種率は、例年とほぼ変わらず、43.8%となっていました。

⑭風疹第 5 期にかかる抗体検査と予防接種につきましては、令和元年より開始となり、対象が変わらないことから令和元年から令和 5 年の累積で算出をしております。抗体検査実施率は 26.9%です。抗体検査を受けた方のうち、抗体値が低いものが予防接種対象となり、その接種率は 84.8%となっています。

⑮新型コロナウイルス感染症の影響等に配慮した接種期間の延長措置による接種者数については、新型コロナウイルス感染症を理由として定期接種の対象期間内に終えられなかった場合に、対象期間を延長して定期接種として予防接種を受けられるものですが、令和 5 年度は 0 件でした。

15 ページ

新型コロナワクチンの接種状況ですが、春開始の接種状況は 65 歳以上 60.7%、18～64 歳が 7%で、全体で 28.7%です。全国の接種率は、全体で 22%、65 歳以上で 57.4%となっており、滝川市の接種率のほうが高くなっております。

秋開始の接種状況は、65 歳以上が 57%、65 歳未満の接種率につい

ては、表のとおりとなっております、全体としては31.1%となっております。全国の接種率は全体で27.1%、65歳以上53.7%となっております、秋開始接種ワクチンについても滝川市の接種率のほうが高くなっております。

16 ページ

報告事項は以上となります。

委員長) 報告事項で何か質問、意見はありますか。

委員) 子宮頸がんワクチンの接種率が10%台と極端に少ないなと思います。市民の方の拒否反応が未だに残っているのかと思われる。これに関して、郵送案内を行っているが、接種率を上げるためにも、何かもう一歩踏み込んだような対策を取組でも良いのではないかと。

市の教育委員会とも連携が必要じゃないかと思えますけど、他の市内の高校にも教育委員会にも働きかけ、説明するや連携も必要だと考えています。

事務局) 2年前から滝川西高等学校からがん教育の依頼をいただき、講習を行っています。その中で必ず予防できるがんと言うことで、HPVウイルスのワクチンの話も必ずしています。それを滝川西高等学校だけじゃなく、他の高校とか定期接種の対象となる中学生のほか、小学校6年生ぐらいなどから健康教育として学校で講演する機会に話ができればと思っており、教育委員会にも働きかけていきます。

委員長) その他、何かお気付きの件はありますか。

委員) インフルエンザワクチン接種期間が1ヶ月延長し1月末になったが接種者は増えたか。

事務局) 確か20名ぐらいだったと思うが、接種者は増えていない。

委員) 接種期間を早めた方が良いのではないかと。

事務局) インフルエンザのワクチンの納入時期についても、各委員にお伺いしたいと考えていた。

委員) ワクチンは例年、9月の中旬から下旬にかけて流通してくるが、流通量は多くない。

事務局) 例年通り、11月からの方が接種しやすいとの意見もあり、11月にさせていただいた。今期から時期がわからないのですが、コロナのワクチン接種も加わりましたので、そのあたりも各委員にお伺いしたいと考えていました。

委員) インフルエンザのワクチン入荷量としては、10月の中旬とか薬だったら多分あんまり増えないと思う。市の助成金の事ありますよね。市

	<p>としての定めが11月じゃないと補助対象にならず、それ以前の接種は全額自費になってしまうので、接種時期を前倒していただきたい。接種の予約も8月から受付している。11月、12月は接種が多く接種が大変で、コロナ接種が重なってくるとできない。インフルエンザワクチン接種を9月や10月から実施したい。</p> <p>事務局) 要綱の問題なので、その方が良いとのことであれば変更することは可能です。ただ、医療機関の事情で11月1日から接種となったこともあるので、接種をしている各医療機関ご意見を伺いたい。</p> <p>委員) 10月の開始が可能であれば、接種希望者を10月に対応ともできる。コロナワクチン接種と同じ時期なら対応はできない。</p> <p>事務局) 検討させていただく。</p> <p>4. 協議事項</p> <p>事務局より一括説明</p> <p>17 ページ</p> <p>子供にかかる予防接種のご案内を4月号広報で周知させて頂いており、その内容を掲載させていただいております。</p> <p>18 ページ</p> <p>今年度から新たに5種混合が定期接種化されましたので、その内容について1月号候補で載せさせていただいております。平成PVの予防接種も継続して実施するために、4月号公報で周知をさせていただいております。なお、キャッチアップが今年度最後になりますので、最後の機会ということで、周知をさしました。</p> <p>19 ページ</p> <p>高齢者肺炎球菌につきましても、4月号広報で掲載させて頂いております。これまで65歳から100歳までの5歳刻みの方が対象だったのが、令和6年度からは、65歳の方、60歳以上65歳の未満の方で、特定の症状を有する方というものに対象者が変わっておりますので、その旨を記載させて頂いております。また、個別でも下の様式葉書やお知らせを郵送しております。</p> <p>20 ページ</p> <p>21 ページ</p> <p>子宮頸がんワクチンの個別案内になりますけれども中学1年生に対して、この案内と国の方で作成をしておりますHPVのパンフレットと予診票合わせて送付させていただいております。</p> <p>22 ページ</p>
--	---

	<p>子宮頸がんワクチン個別案内して、中学校2年生から3年生につきましては中学校1年生の時に予診票、パンフレットお送りしております。葉書でご案内をしております。高校1年生につきましては、定期接種最後の年になることから、定期接種完了までの期間がおおよそ半年程度かかりますので、ちょっと早めに打つということをおすすめするために、内容を少し変更して案内出しております。</p> <p>23 ページ</p> <p>キャッチアップ接種につきましても、今年度が最後の年となりますので、余裕を持って接種を終えられるようご案内の郵送している状況になります。</p> <p>24 ページ</p> <p>日本脳炎定期予防接種の個別案内ですけれども、9歳になるお子さんの保護者の方に向けて、葉書でご案内を郵送しております。</p> <p>25 ページ</p> <p>日本脳炎の特例措置で18歳の方に対しまして、個別案内の方を郵送しております。</p> <p>26 ページ</p> <p>2種混合のご案内を小学校6年生の保護者の方に郵送しております。</p> <p>27 ページ</p> <p>麻しん風しん混合ワクチンの第2期接種のご案内を小学校就学前のお子さまと保護者の方に対して郵送りしております。</p> <p>28 ページ</p> <p>大人向けになりますが、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、まだ抗体検査を受けられていらっしゃらない方に対しまして郵送している案内になります。なお、抗体検査の有効期限が、令和4年に郵送したものは、有効期限の記載が令和5年3月末日までとなっていることから、その有効期限を令和7年2月末まで延長する内容でご案内を郵送しております。</p> <p>29 ページ</p> <p>令和6年度より新型コロナウイルスワクチンが定期接種化されました。接種単価については、記載のとおり示されております。国からは当初接種費用7,000円と示されておりましたが、ワクチン単価が見込みよりも高額となり15,300円となりました。滝川市医師会とは、これから調整となりますが、この額を令和6年度の契約単価とする予定です。接種者の自己負担額についてですが、令和6年度は増額された</p>
--	--

8,300円分の補助が国からあるため、補助額を差し引いた7,000円の半額を助成し、自己負担を3,500円として実施をする予定です。なお、生活保護及び中国残留邦人支援給付該当の方は無料となります。また、令和7年度以降の自己負担は、国からの補助はないと明言されていること、並びにワクチン単価がどうなるかが不明であるため、再検討となります。

現在、接種開始時期については、国からは秋冬に開始するという情報しかなく、具体的な接種開始時期は未定であり、接種するワクチンの種類もこれから示される予定です。国から使用ワクチンが示されましたら、各医療機関に受託意向調査を送らせていただきますので、ご回答をお願いいたします。

また、コロナの任意予防接種に関する問い合わせが増えることが予測されることから、任意接種の受け入れに関する調査を合わせて実施させていただき、掲載許可を得られた医療機関については市ホームページに掲載させていただきたいと思います。インフルエンザの任意接種の状況についても同様にとりまとめさせていただき、コロナの情報と合わせて掲載したいと考えております。コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種の可否についても、各医療機関の状況にもよるかと思っておりますので、あわせて調査させていただきたいと考えております。

コロナの定期接種は、今年度が初となりますので、委員の皆さんのご意見を頂戴しながら、スムーズに取り進めていければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

協議事項については以上になります。

委員長) 協議事項で質問、意見はありますか。

委員) 今年度のインフルエンザワクチン接種は、予定では11月から接種を開始し12月は一杯になる。他の委員からもご意見ありましたが、10月から接種できるよう、接種開始の時期を改めて検討が必要だと思います。

委員) あとは前倒しかどうかというところになりますね。正直11月12月接種が非常に大変です。その時期に集中するのは、本当に勘弁してほしいと思うぐらい接種が多い。緊急的な外来対応に支障があるぐらいの接種を行っている。ただ、一方でワクチン製剤が入荷できるかどうかという問題もある。

事務局) 去年の予防接種対策協議会で、この話が出た時には、そもそもワク

	<p>チンが入荷流通されないこともあって、10月の接種開始は難しいとの意見も少しありました。</p> <p>委員) 10月からインフルエンザのワクチン接種を開始することになると、周知も「10月から出来る」という形で掲載されます。そうすると市民の方から予約の問い合わせが殺到してしまうことも想定されるが、ワクチンの入荷がないと接種できないため、二度手間、三度手間となる。それを避けたい。</p> <p>委員) 接種できる病院名を掲載するのは、直前になると思うが、要綱を変更していただき、助成金を使用できる期間をあらかじめ10月とかに決めていただくと、各病院も動きやすいかなと思うので、市の方で、ある程度早めに大まかに決めてもらうと助かります。</p> <p>委員) 確かにワクチンを下ろしている薬剤卸業者の方も、入荷時期についてわかっていない。ただ、入荷希望数が全部入荷にならないけども、少量でも入荷が見通せた時点で、例えば「10月20日から接種開始」とかで対応している。10月上旬から接種開始だと結構厳しかったですよ。</p> <p>委員) インフルエンザワクチンの接種開始時期については、できれば今決めてほしいぐらいです。接種を希望する高齢者の方に補助は11月からなので、待ってくれとはならない。早く接種したい方が圧倒的に多い。また、コロナワクチンの接種が重なってきたら、多分コロナ断ると思います。それぐらいの大変そうですから。10月からの接種時期への変更をぜひ行ってもらいたい。なお、1月は子供の2回目接種を行っている。</p> <p>委員) また去年みたいに、インフルエンザの流行が早ったら、接種したい方も増える。</p> <p>事務局) そうですよ？流行りもありますからね。現時点であのネックなのは、要綱で助成する接種時期を定められているところになるので、そのところを早く接種できるように改正をすれば良いと思う。</p> <p>事務局) ワクチンの流通については、通知が国から来るのが9月の10日過ぎに流通が開始されるので、本格的に北海道でワクチンが流通するのが10月頃になるでしょうね。</p> <p>国の動きもちょっと遅めで、今年コロナワクチン接種も始まるので、国がそのコロナの同時接種だとか、コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種の方法についても通知をしてくるかっていうことも気になっている。あと病院に入荷する時の価格も気になります。接種開始時期の前倒しについても前向きに検討させていただきたいと思いま</p>
--	---

	<p>す。</p> <p>委員) 基本的に妨げるものはないとそうですね。</p> <p>事務局) 特に内部のコンセンサスを得るという過程が必要なので、即決ではなく保留させて頂きますが、前向きということで進めさせて頂きます。</p> <p>委員) コロナワクチン接種とインフルエンザワクチンの同時接種について、すでに検討されていますか？</p> <p>委員) 今までは、予約システムからだよね。これからは、各病院で予約を受け付けるから、非常に難しいですよ。あと、ニーズがどこまであるのかあんまりないような気がする。このあとコロナワクチンの値段が高いからね。さっきの話も含めて、進めるところ早く決めてもらわないとないような気がする。</p> <p>薬剤卸しに連絡しようと思っているけど、1バイヤルごとの入荷ができないかと考えている。インフルエンザワクチン接種の場合、キャンセルされても他の接種希望者がいるので良いが、コロナワクチン接種の場合、キャンセルされた時に高額な金額を病院で払うことにはならない。薬剤卸しで引き取ってくれたらいいけど、引き取ってくれるかだね。そうすると、いろいろニーズの問題もあるし、キャンセルした時のことを考えると、コロナワクチン接種にはちょっと手を出しにくい状況ですね。また、国から情報があればなるべく早く情報は周知していただきたい。</p> <p>委員長) よろしいでしょうか。4協議事項のその他に関し意見はありますでしょうか。</p> <p>委員) なしの声</p> <p>委員長) はい、ありがとうございました。</p> <p>事務局) 貴重なお時間をいただき協議いただきましてありがとうございました。今日頂いたご意見を検討させて頂きます。この場ですぐに結論が出せないものもありまして申し訳ありません。なるべく早く接種が動き出せるように準備進めてまいりたいと思います。</p> <p>5. 閉会</p> <p>事務局) 以上もちまして、令和6年度予防接種対策協議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>資料) 令和6年度 滝川市予防接種対策協議会</p>
--	--